



「大雲寺 日限地藏尊」

大雲寺は西山浄土宗の寺院で山号は法澤山。元々は岡山城を築いた宇喜多氏により現在の西大寺町に建立され、当初は竜昌山 大運寺と号していました。天正(1573~92)年間に全国行脚をしていた僧侶の安楽庵策伝(落語の祖)が一夜の宿をとったのを機に寺を再興し、現在の大雲寺と改めたといわれています。その後の岡山城主となった小早川秀秋に没収され、現在の地に移りました。この後、寺を中心に町並みは整備され、この地域は次第に大雲寺町と呼ばれるようになりました。

江戸、明治、大正と時代を経る中で、たびたび火災に見舞われましたが、先の大戦での空襲で、建物を全焼してしまっています。しかし、その空襲の中にあつて、地藏堂の本尊だけは、灰燼にたたくんでいたと伝えられています。戦後は本堂とともに地藏堂が再建されました。

安置される石造地藏菩薩は「日限地藏」として知られ、親しまれており、毎月23日に古くから現在も続く縁日があります。その来歴は岡山空襲により資料となるものがすべて焼けてしまいはつきりわかりませんが、市内を流れる旭川が大洪水を起こしそうになったとき、お地藏さんが岸壁に流れ着き、水をせき止め、大被害をくい止めたという話に端を発しています。

その後、水が引いたあと、川からお地藏さんを引上げ運んだ近所の人たちが、そのお地藏さんをさわった手で自分の肩や腰など撫でると痛みが取れたと…。この話が人々の口から口へと伝わり、自分もおかげを受けようとお地藏さんをさすっては自分の痛いところをおさえるとすぐ治る。また、或る者は自分の願いごとが何日までに叶うようにと願をかけ、それが日を限って思いが達する、ということから「日限地藏さん」として広く知られるようになりました。

こうした話が広まり、われもわれもお参りする人がどんどん増え、病気の平癒、安産、子宝、身心健全など、よろずの願いを叶えてくれるありがたいお地藏さんとして、皆に愛されるようになったと言い伝えられています。



◆延命地藏
延命、利生を請願するお地藏さま。
新しく生まれた子を守り、その寿命を延ばすというお地藏さま。当山では自分の痛いところをさすってお地藏様をさすと回復に向かうとされています。



◆子安地藏
妊婦の安産を守護するお地藏さま。



◆北向地藏
地藏堂の延命地藏と向かい合うようにおまつりされています。



◆乳地藏
子供を産んだ母親の母乳がたくさん出るように力を貸して下さるお地藏さま。



◆泡子地藏
この世にいろいろな事情で生まれてくることのできなかつた水子に慈しみ、浄土へと導いて下さるお地藏さま。

「日限の縁日」周辺マップ



〈お問い合わせ先〉

日限の縁日 実行委員会

090-8992-0098 (西崎まで)

出店者・ライブ・パフォーマー・スタッフ募集中!

日限の縁日 実行委員会では、縁日に出店(飲食・雑貨その他)、ライブ(音楽・ダンスなど)、パフォーマンスなどを随時募集しております。また、イベントスタッフも募集しております。私たちと一緒に「日限の縁日」を盛り上げていきませんか! 興味のある方は上記までお問い合わせください。

毎月23日

日限の縁日

HIGIRI no ENNICH

伝える つながる 創る

100年以上続く大雲寺の日限の縁日を今つむぐ。2011年東日本大震災をきっかけとして「人と人の結び合う心が大切」との思いから「創る・つながる・伝える縁日」を目指し、千日前アーケードまで規模を拡大して、より賑やかにスタート。マーケットやステージパフォーマンスなどイベントも盛りだくさん! ぜひ、遊びにきてください!

「日限の縁日」毎月23日開催

Market : at 大雲寺周辺(終日)

at 千日前(13:00~20:00)

Event : 午前は大雲寺境内

午後は千日前商店街にて開催



日限の縁日はESD参加事業です。 助成: 公益財団法人福武教育文化振興財団